



2007 年 11 月 13 日

報道関係各位



**海外・国内株式、商品相場に”効率よく”投資するための
新ジャンルの金融商品
「トラッカー e ワラント」
12月3日(月)より取り扱い開始**

ゴールドマン・サックス証券株式会社(社長:持田昌典、所在地:東京都港区;以下「ゴールドマン・サックス証券」)は、2007 年 12 月 3 日(月)より、「トラッカー e ワラント」の取り扱いを開始します*。

*ご注意:e ワラント、ニアピン e ワラント及びトラッカー e ワラントのお取引は取扱金融商品取引業者を通じてのみ可能です。(ゴールドマン・サックス証券で直接購入することはできません)

中国、インドをはじめとする海外市場やコモディティ相場が投資対象として日に日に注目を集めています。そこでゴールドマン・サックスは、手数料や為替コストを低く抑えつつ、今人気の海外市場やコモディティ相場を投資対象とする新商品「トラッカー e ワラント」を開発いたしました。トラッカー(Tracker)、つまり「あとをついていく人・もの」という意味をもつこの投資商品は、中国の株価指数、インド株バスケットや原油価格そのものを投資対象(間接投資となる場合を含む)にすることができます。ちなみに「トラッカー」という商品名称は、海外の取引所において、カバード・ワラントや ETF 等で特定の投資対象の値動きに連動するように設計された商品に使われることがあります(注 1)。

トラッカー e ワラントの特徴

- ① 海外市場やコモディティ相場を対象とするトラッカー e ワラントの場合、新興国の株式あるいはコモディティ相場を対象とした一部の投資信託などのように販売手数料や、海外の商品の場合に発生し得る為替コストがかからないため、相対的に運用コストを低く抑える可能性が広がります。(ただし、予め年率で計算した管理コストが販売価格に織り込まれており、また各取扱金融商品取引業者が定める委託手数料が別途かかります。)
- ② 投資信託のように、運用者次第でパフォーマンスが左右されることはありません。
- ③ 既存の e ワラントと違ってレバレッジがなく、時間的価値の減少の影響がない設計になっているため(注 2)、これまでの e ワラントよりも中長期の投資(2 年から 7 年程度)が可能になります。長期的な成長が見込まれる中国やインドに、中長期的に投資したいという投資家のニーズにも合致した商品となっています。

9:00 から 23:50(*)まで、オンラインでのリアルタイム取引が可能であり、対象となる原資産を問わず大手オンライン証券の証券口座で取引することができるという利便性は e ワラントと同様です。(*中国の株価指数を対象とする銘柄は 9:00 から 10:30 および 10:45 から 23:50 まで。また、取引停止時を除く)

(注1)トラッカー e ワラントの価格は、e ワラントに比べると一般に対象原資産の価格により近い動きをしますが、任意の二時点間において対象原資産の価格に連動するものではありません。また、金利水準、満期日までの予想受取配当金及び対象原資産の貸株料等の変動によって、対象原資産に対する投資収益率の前提が変化した場合には、トラッカー e ワラントの価格も影響を受けます。

(注2)ただし、予め年率で計算した管理コストが販売価格に織り込まれています。

今回発行される銘柄の一覧

銘柄名	投資対象	ワラントタイプ	回号	権利行使価格	満期
インド株バスケットトラッカー e ワラント	米国及び欧州に上場するインド株預託証券主要銘柄のバスケット	トラッカー型	1	1 円	2014 年 3 月 14 日
ハンセン指数トラッカー e ワラント	ハンセン指数 (香港)	トラッカー型	1	1 香港ドル	2014 年 2 月 28 日
日経平均トラッカー e ワラント	日経平均株価	トラッカー型	1	1 円	2014 年 3 月 14 日
WTI 原油トラッカー e ワラント	WTI 原油先物リンク債	トラッカー型	1	1 米ドル	2009 年 11 月 18 日

取扱金融商品取引業者

「トラッカー e ワラント」の取り扱いは、SBIイー・トレード証券で12月3日から、カブドットコム証券、松井証券でも後日取り扱いを開始する予定です。

トラッカー e ワラントの概要

- ・ 対象原資産: インド株バスケット(インド株預託証券主要銘柄のバスケット)、ハンセン指数(香港)、WTI 原油先物リンク債、日経平均株価、その他の対象原資産も随時追加する予定
- ・ 満期: 発行時から 2 年から 7 年程度
- ・ 最低必要資金: 10 万円程度(1 ワラント当たり 100 円程度)
- ・ 取引単位: 1,000 ワラント単位
- ・ 取引価格: ゴールドマン・サックス・インターナショナルが売値・買値を決定
- ・ 取引時間: 9:00~23:50 のリアルタイム取引。ただしハンセン指数を対象とするトラッカー e ワラントは 9:00~10:30 および 10:45~23:50(取引停止時を除く)
- ・ 流動性: ゴールドマン・サックス・インターナショナルがマーケット・メイクを行うことで提供
- ・ 投資コスト: 委託手数料、売買スプレッド、予め販売価格に織り込まれている年率 1%~2%程度の管理コスト(2007 年 11 月時点。計算時点におけるマーケット・メーカーのヘッジコスト(金利水準、ヘッジ対象の流動性、資金調達コスト等を含む)の予想に基づいて設定され、銘柄および購入時点によって異なる可能性があります)
- ・ 取引決済: 取引日の 3 営業日後(通常の株式の決済と同様)
- ・ 配当金等: 配当金、株主優待無し(ただし満期日までの予想受取配当金は予め購入金額の計算に織り込まれています)

インド株バスケットの構成銘柄

インド株バスケットは米国や欧州に上場されているインド企業の預託証券(ADR および GDR)のうち、時価総額、流動性、業種分散等を考慮して選定された 12 銘柄からなる合成指数です。

No	銘柄コード	銘柄名	設定時の構成比	組入株式数
1	INFY.O	Infosys Technologies Ltd	15.0%	0.002684588
2	IBN.N	ICICI Bank Ltd	15.0%	0.001977095
3	RELIq.L	Reliance Industries Ltd	12.0%	0.000776661
4	SLT.N	Sterlite Industries (India) Ltd	11.0%	0.003993014
5	SAY.N	Satyam Computer Services Ltd	8.0%	0.002456062
6	HDB.N	HDFC Bank Ltd	7.5%	0.00050169
7	RDY.N	Dr Reddy Laboratories Ltd	7.0%	0.003992303
8	TTM.N	Tata Motors Ltd	6.0%	0.002882058
9	SBIq.L	State Bank Of India	5.5%	0.000369661
10	LARTq.L	Larsen & Toubro Ltd	5.5%	0.000441894
11	WIT.N	Wipro Ltd	5.5%	0.002992274
12	HALCq.L	Hindalco Industries Ltd	2.0%	0.003798887

*インド株バスケットは 2007 年 11 月 6 日の終値(以下、「基準時」といいます)に基づいて組成されており、基準時のインデックスの値は 100 となっています。構成比は基準時のものであり、株価の変動により変化します。また株式分割等の理由により、組入株式数が調整されることがあります。

ゴールドマン・サックス証券について

ゴールドマン・サックス証券株式会社は、ニューヨーク証券取引所上場の世界最大手の投資銀行、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの子会社です。1974 年に東京駐在員事務所開設、1986 年に外国証券会社として初めて東京証券取引所の正会員となりました。投資銀行かつ証券会社の機能を有し日本の企業、金融機関、政府機関、個人顧客に対して、幅広い金融サービスを提供しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

ゴールドマン・サックス証券株式会社 コーポレート・コミュニケーションズ

TEL:03-6437-1648

FAX:03-6437-1646

URL <http://www.ewarrant.co.jp>

・従来の e ワラント、ニアピン e ワラントと共通のリスク

- 信用リスク: 発行者のゴールドマン・サックス・インターナショナル及び保証者のザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクが破綻などの事態に陥った場合には、権利の一部または全部が支払われないことがあります。
- 取引停止リスク: システムに異常が生じた場合や、対象株式の売買が停止している場合、その他ゴールドマン・サックス・インターナショナルがマーケット・メイクを行わない場合などには、取引ができません。
- 税務リスク: 総合課税となります。また、将来税制が投資家に有利、又は不利に変更される可能性があります。
- 決済リスク: 事務手続きのトラブル、決済機関のトラブル等により、購入代金の払い込み、売却代金の受取りに支障をきたす可能性があります。

e ワラント、ニアピン e ワラント及びトラッカー e ワラントへの投資にあたっては、こちらの手数料及びリスクに関する説明を必ずお読みください <http://www.ewarrant.co.jp/beginner/index2.html>

- ミストレード:「カバード・ワラントのミストレードおよび約定取消し取引に関する規程」で定める内容に従い、取扱証券会社から投資家にミストレードの通知がなされた場合には、本規定の手続きにしたがって当該ミストレードは取り消されます。

詳細につきましては、最新の「外国証券内容説明書」にて必ずご確認ください。

・以下、外国証券内容説明書からの抜粋

トラッカー e ワラントのリスク要因

1. トラッカー e ワラント(トラッカー型カバード・ワラント)は権利行使期限の付されているオプションを表章する有価証券であり、満期日が到来すると決済が行われるという性格の有価証券である。なお、トラッカー e ワラント投資によって利益を得るには購入価格を上回る価格で売却するか、購入価格を上回る金額を満期日に受取る必要がある(別途、税金・手数料等を考慮する必要がある)。
2. トラッカー e ワラントを買い付けた場合は、満期日まで以下の選択をする必要がある。
 - 1) トラッカー e ワラントを売却するか、
 - 2) トラッカー e ワラントを満期日まで保有し、オプションの自動行使に基づき満期参照原資産価格が権利行使価格を上回る金額分に1ワラント当たり原資産数と為替スポットレート(対象原資産が国外のものの場合)を乗じた金額を受取る。
3. トラッカー e ワラントの価格は、通常の e ワラントに比べると一般に対象原資産の価格により近い動きをするが、任意の二時点間において対象原資産の価格に連動するものではない。また、トラッカー e ワラントの価格は、対象原資産の価格に1ワラント当たり原資産数と為替スポットレート(対象原資産が国外のものの場合)を乗じた数値とは一般に乖離している。なお、トラッカー e ワラントは償還期限のあるカバード・ワラントであり、株式投資信託、株価指数連動型上場投資信託(ETF)又は株式とは異なる商品である。
4. ゴールドマン・サックス・インターナショナル、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク、ゴールドマン・サックス証券株式会社及びすべての関連会社(以下「ゴールドマン・サックス」という)がトラッカー e ワラントの価格計算に用いる計算式がブラック・ショールズ計算式又はブラック計算式と必ずしも同一であるとは限らない。更に、ゴールドマン・サックスがトラッカー e ワラントの価格計算に用いる対象原資産の価格(以下「参照原資産価格」という)、ボラティリティ、金利、貸株市場の状況(貸株料率[株券貸借市場における株券の調達コストをいい、信用取引にかかる品貸料又は信用取引貸借料とは異なる]、需要状況等)、満期日までの予想受取配当金、時間の経過(管理コストの価格への影響を含む)、計算モデルの変更等、の各種要因(以下これらを「価格変動要因」という)の将来における数値等の予想を行うことは困難なため、投資家において将来のトラッカー e ワラントの価格変動を予想することは極めて困難であることを認識する必要がある。また、投資シミュレーター等では将来のトラッカー e ワラント価格変動について予測することは困難である。

トラッカー e ワラントの価格変動リスク

トラッカー e ワラントを満期日まで保有した場合、満期参照原資産価格が権利行使価格を超えている部分に関してその差額を受取る(この金額は1ワラント当たり原資産数によって調整される。対象原資産が国外のものの場合には為替スポットレートを乗じた金額)。

トラッカー e ワラントの価格は、e ワラントに比べると一般に対象原資産の価格により近い動きをするが、任意の二時点間において対象原資産の価格に連動するものではない。また、金利水準、満期日までの予想受取配当金及び対象原資産の貸株料等の変動によって、対象原資産に対する投資収益率の前提が変化した場合には、トラッカー e ワラントの価格も影響を受ける。これはトラッカー e ワラントの価格が、対象原資産の現時点における価格ではなく満期日における先渡価格(フォワード価格)に基づいているためである。従って、例えば満期日までの予想受取配当金が上方修正されたにも関わらず、対象原資産の価格が変化しなかった場合には、先渡価格が下落し、その結果トラッカー e ワラントの価格が下落することがある。金利水準・満期日までの予想受取配当金及び対象原資産の貸株料等の変化は、トラッカー e ワラントで満期日までの期間の長いものについて特に影響を与える可能性が高い。なお、貸株料とは株券貸借市場における株券の調達コストをいい、信用取引にかかる品貸料又は信用取引貸借料とは異

なる。ゴールドマン・サックス・インターナショナルは、通常の市場環境においてトラッカー e ワラントの売値・買値の提示を行うが、提示価格での取引を保証するものではない。

● 価格変動要因のうち参照原資産価格のみが上昇するとトラッカー e ワラントの価格は上昇する。また参照原資産価格のみが下落するとトラッカー e ワラントの価格は下落する。

● 価格変動要因のうち時間の経過のみを考慮した場合、時間が経過することによってトラッカー e ワラントの価格は管理コスト相当分減少する。

● 上記は価格変動要因が変化した場合の一般的な変動についての記述でありその影響の程度は各種条件により異なり、例外がありうることを認識する必要がある。

以上に加え、トラッカー e ワラントの発行会社又はその関連企業がヘッジ取引(トラッカー e ワラントの対象原資産の株式の売買及びオプション取引等)を行うことによってトラッカー e ワラントの対象原資産の価格及び市場のボラティリティ等その他の価格変動要因に影響を与え(あるいは影響を与えると見られ)、ひいてはトラッカー e ワラント自身の価格に影響を与えることがある。なお、トラッカー e ワラントには満期日がありトラッカー e ワラントをその時点まで保有していた場合においては必ず損益が実現されるが、以下に例示するように、当該ヘッジ取引によって特に満期日における対象原資産の価格及びその他の価格変動要因が影響を受け、トラッカー e ワラント保持者の損益に影響を及ぼす可能性がある。

● トラッカー e ワラントのヘッジ目的で保有されていた対象原資産等が満期日に売却されることにより対象原資産等の価格が下落する。

なお、トラッカー e ワラントを購入しても金利や配当の受取りは発生しない点に注意を要する。また、国外の原資産を対象とする場合には外国為替リスクが存在し、外国為替レート変動の影響によりトラッカー e ワラントの価格が変動する。

その他のトラッカー e ワラント共通の特記事項

● 満期前強制買戻し:トラッカー e ワラントは一般に発行時点における満期日までの残存期間が長く、また一般には投資が必ずしも容易ではない投資対象を対象原資産とすることがある。このため、発行会社が満期日までの間に満期前強制買戻しを決定する可能性がその他の本ワラントよりも一般に高い。この場合、計算代理人が定める日及び方法を以って強制的に買戻しが行われる。

● 管理コスト:トラッカー e ワラントの購入価格には年率で計算された管理コストが予め織り込まれている。これは保有期間に応じて投資家が負担する間接的なコストとなる。また、管理コストは計算時点におけるマーケット・メーカーのヘッジコスト(金利水準、ヘッジ対象の流動性、資金調達コスト等を含む)の予想に基づいて設定され、購入時点によって異なる可能性がある。

ハンセン指数を対象とするトラッカー e ワラントに関する注意

ハンセン指数を対象原資産とするトラッカー e ワラント(以下、「ハンセン指数トラッカー e ワラント」という)は、以下の点に特に注意が必要である。

● 取引時間:取引時間は午前 9:00 から午前 10:30 及び午前 10:45 から午後 11:50 までであり、その他のトラッカー e ワラントとは異なる。但し、何らかの事由により、取引所において取引時間に変更があった場合、又はゴールドマン・サックスが取引時間の変更を合理的と判断する場合には、ハンセン指数トラッカー e ワラントの取引時間も変更・見直される可能性がある。

● 満期参照原資産価格に用いる対象原資産の価格:ハンセン指数トラッカー e ワラントの満期参照原資産価格は、満期日における香港証券取引所のハンセン指数先物取引の公表決済価格(SQ 値:スペシャル・クォーテーション)が用いられる。この値は、多くの場合当該株価指数の始値及び同一の満期日を持つハンセン指数を対象原資産とする e ワラントの満期参照原資産価格とは一致しないことに特に注意が必要である。なお、ハンセン指数トラッカー e ワラントの満期決済金額算出時に用いる為替レートは、現地時間における満期参照原資産価格算出時の為替スポットレートとする。

インド株バスケットを対象とするトラッカー e ワラントに関する注意

インド株バスケットを対象原資産とするトラッカー e ワラント(以下「インド株バスケットトラッカー e ワラント」という)は、以下の点に特に注意が必要である。

- 満期参照原資産価格に用いる対象原資産の価格: インド株バスケットトラックー e ワラントの満期参照原資産価格は、満期日における各株式預託証券の主たる取引所における終値を基に計算代理人が流動性等を考慮して合理的に算出した価格が用いられる。なお、インド株バスケットトラックー e ワラントの満期決済金額算出時に用いる為替レートは、現地時間における満期参照原資産価格算出時の為替スポットレートとする。

WTI 原油先物リンク債を対象原資産とするトラックー e ワラントに関する注意

WTI 原油先物リンク債を対象原資産とするトラックー e ワラント(以下「WTI 原油トラックー e ワラント」という)は、以下の点に特に注意が必要である。

- 参照原資産価格: WTI 原油トラックー e ワラントの満期前のマーケット・メイクに用いられる参照原資産価格である WTI 原油先物リンク債の価格は、活発に取引される WTI 先物の限月の価格からゴールドマン・サックスが合理的に計算した理論値が用いられる。このため、当該リンク債の価格は、必ずしも権利の対象となる WTI 原油スポット価格及び先物の直近取引値とは一致しない。
- 満期参照原資産価格: WTI 原油トラックー e ワラントにおける「満期参照原資産価格」とは、満期日における対象原資産(WTI 原油先物リンク債)の権利の対象となる WTI 先物の公表決済価格を基に、計算代理人が流動性等を考慮して合理的に算出した対象原資産の決済価格をいう。なお、WTI 原油トラックー e ワラントの満期決済金額算出時に用いる為替レートは、現地時間における満期参照原資産価格算出時の為替スポットレートとする。
- 外国為替相場の影響: WTI 原油先物リンク債の原資産である WTI 価格は米ドルが取引通貨となっているため、WTI 原油先物リンク債の価格は米ドルの対円外国為替相場の影響を受けることに注意が必要である。
- 商品先物価格と現物価格: 商品先物の価格は、需給バランスの変化、投機、金利の変動等の様々な要因によって影響を受け、現物価格よりも高くなる場合も低くなる場合もある。
- 商品価格の変動要因: 商品の取引価格は、株式投資の際には必ずしも注目されないような原因によっても変動しうる。過去には株式のパフォーマンスとの相関が低いと考えられる場合もあるが、過去の価格変動は将来の価格変動を保証するものではなく、将来の価格変動も株式のパフォーマンスとの相関が低いとは限らない。

日経平均を対象原資産とするトラックー e ワラントに関する注意

日経平均を対象原資産とするトラックー e ワラント(以下、「日経平均トラックー e ワラント」という)は、以下の点に特に注意が必要である。

- 満期参照原資産価格に用いる対象原資産の価格: 日経平均トラックー e ワラントの満期参照原資産価格は、満期日における日経平均先物取引の公表決済価格(SQ 値:スペシャル・クォーテーション)が用いられる。この値は、多くの場合当該株価指数の始値及び同一の満期日を持つ日経平均を対象原資産とする e ワラントの満期参照原資産価格とは一致しないことに特に注意が必要である。

トラックー e ワラント(カバードワラント)は、対象原資産である株価指数、通貨(リンク債)、コモディティ(リンク債)の価格変動や為替相場(対象原資産が国外のものの場合)など様々な要因が価格に影響を与える有価証券です。このため、投資元本の保証がなく、損失が生じる恐れがあります。トラックー e ワラントの価格は、e ワラントに比べると一般に対象原資産の価格により近い動きをしますが、任意の二時点間において対象原資産の価格に連動するものではありません。また、金利水準、満期日までの予想受取配当金及び対象原資産の貸株料等の変動によって、対象原資産に対する投資収益率の前提が変化した場合には、トラックー e ワラントの価格も影響を受けます。さらに、取引時間内であっても取引が停止されることがあります。詳細は、最新の外国証券内容説明書をご参照ください。

商号等/ゴールドマン・サックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第69号
加入協会/ 日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会

1 取引あたりの委託手数料は 262 円から 2,100 円(税込み)です(平成 19 年 11 月現在、各取扱金融商品取引業者により異なります。)また、お客様の購入価格と売却価格には価格差(売買スプレッド)があります。トラックー e ワラントの購入価格には年率 で計算された管理コストが予め織り込まれています。管

e ワラント、ニアピン e ワラント及びトラックー e ワラントへの投資にあたっては、こちらの手数料及び
リスクに関する説明を必ずお読みください <http://www.ewarrant.co.jp/beginner/index2.html>

理コストは、計算時点におけるマーケット・メーカーのヘッジコスト(金利水準、ヘッジ対象の流動性、資金
調達コスト等を含む)の予想に基づいて設定され、銘柄および購入時点によって異なる可能性があります。